

知っておきたい「膵臓（すいぞう）がん」の基礎知識

～早期発見で守る、あなたとご家族の健康～

膵臓がんは「沈黙の臓器」と呼ばれ、発見が遅れがちな危険域の病気です。
しかし、「超早期段階」で見つけることができれば劇的に改善します！

1cm以下発見時の5年生存率
80%

① なぜ今、膵臓がん対策なのか？

- **がん死亡数 第3位**：近年、罹患数・死亡数がともに急増している注意すべき重要疾患です。
- **一般的な5年生存率は10%未満**：初期症状がほとんどなく、発見時に進行しているケースが多いのが理由です。
- **早期発見が何よりのカギ**：健診での数値チェックと定期的な予防意識が命を守ります。

② 当てはまりませんか？ リスク＆サイン

【危険因子（リスク）】	【見逃せない身体のサイン】
・ 2親等以内に膵臓がんの患者がいる ・ 最近糖尿病と診断/急速に悪化 ・ 慢性膵炎・胆石症の既往歴 ・ 長年の喫煙や過度な飲酒習慣	・ 長引くみぞおちの痛み・胃もたれ ・ 原因不明の背中の違和感・痛み ・ 短期間での急激な体重減少 ・ 肌や目の白目が黄色くなる（黄疸）

③ 職場の健康診断数値のチェック & 専門検査

健康診断の結果で、生活習慣の急変がないのに「空腹時血糖値・HbA1cの急上昇」や「アミラーゼ値の異常」「腹部エコーでの膵管拡張・のう胞指摘」があった場合は放置せず、消化器内科を受診してください。

腹部超音波（エコー）

身体への負担がなく手軽にスクリーニング検査が可能

CT検査 / MRI検査

画像により客観的・多角的に腫瘍の有無や状態を画像診断

超音波内視鏡（EUS）

胃の中から観察し1cm以下の微小変化も検出可能な精密検査

NHK『あしたが変わるトリセツショー』公式資料

「緊急！すい臓がん対策 SP」（2026年7月16日放送）

番組内で紹介された「すい臓がんチェックリスト」です。ご自身やご家族のリスク確認にぜひご活用ください。

https://at.web.nhk/files/torisetsu-show/2026_suizoganchek.pdf

※**コラボヘルス**（企業と健康保険組合が協働で行う健康増進施策）

帝国ホテルをはじめ各事業主と帝国ホテル健康保険組合は積極的に協力し合い、被保険者と家族の健康増進に対する施策をすすめていきます。「知って得する健康保険の基礎知識」は皆さんに役立つ情報をお知らせする「**コラボヘルス**」施策のひとつです。

掲載期間：2026年8月31日

